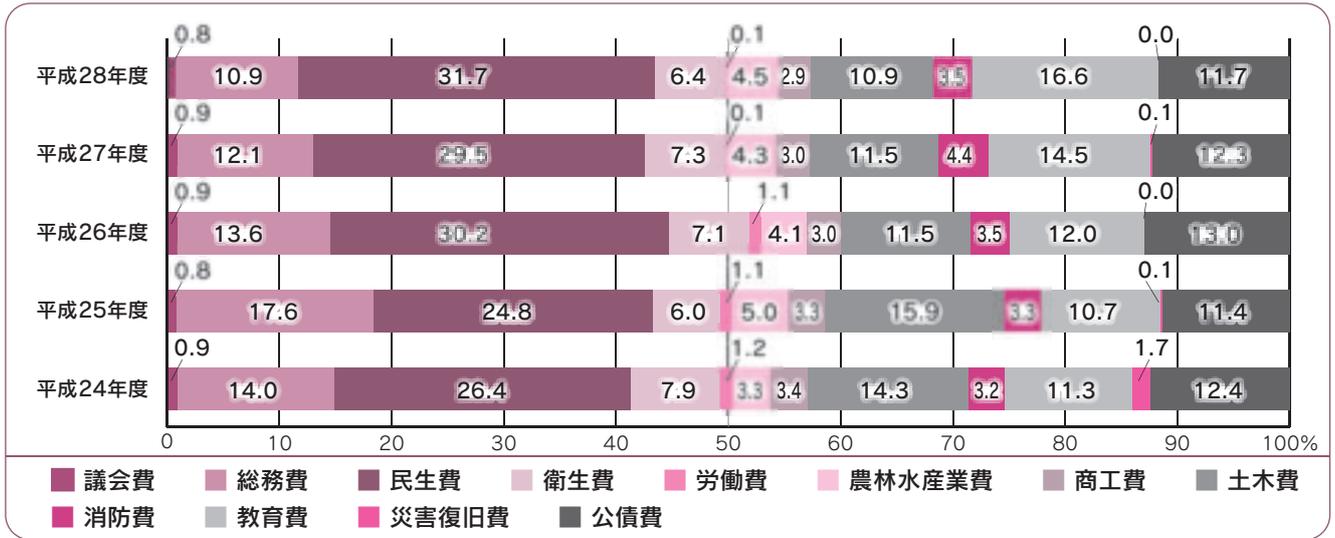


過去5年間の科目別構成比の推移

(単位：%)



財政の健全化に関する状況について

本市の平成28年度決算に係る財政状況は、平成27年度決算と比較すると、実質公債費比率は0.6ポイント改善し、将来負担比率は2.2ポイント悪化しました。将来負担比率は悪化したものの地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する健全化判断基準を相当程度下回っています。

(単位：%)

| 健全化判断比率 及び資金不足比率 | 平成28年度 決算に係る比率 | 早期健全化基準 又は 経営健全化基準 | 備 考 | |
|---------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|
| | | | 平成27年度 決算に係る比率 | 平成26年度 決算に係る比率 |
| 1 実質赤字比率 | — | 12.53 | — | — |
| 2 連結実質赤字比率 | — | 17.53 | — | — |
| 3 実質公債費比率 | 9.4 | 25.0 | 10.0 | 10.7 |
| 4 将来負担比率 | 49.6 | 350.0 | 47.4 | 52.4 |
| 5 資金不足比率 | / | | | |
| (1) 水道事業 | — | 20.0 | — | — |
| (2) 下水道事業 | — | 20.0 | — | — |
| (3) 農業集落排水事業 | — | 20.0 | — | — |

(注：「—」は、赤字又は資金不足を生じていないため当該数値については該当なしを表す。)

※実質赤字比率・・・主要な会計である一般会計等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示すもの。
 ※連結実質赤字比率・・・水道など公営企業を含む地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で示すもの。
 ※実質公債費比率・・・市の収入に対する借金返済の割合を示すもの。18%以上だと、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要。
 ※将来負担比率・・・将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。
 ※資金不足比率・・・水道などの公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すもの



決算審査の様子